薬物治療学Ⅲ Pharmacotherapy Ⅲ

医療科目　3 年／後期　1.5 単位　必修科目

科目責任者　**櫛山暁史（薬物治療学研究室）**

■ 教育目的

適切な薬物治療を提供できるようになるために、生活習慣病と心臓血管系疾患の治療に用いられる代表的な医薬品の患者への適用の仕方・考え方を病態と関連付けながら学習し、患者の治療アウトカムを改善させるための最適な薬物治療法について自ら判断できる能力の習得を教育の目的とする。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-③、YD-⑥】

■ 学習到達目標

1. 主な疾患の病態とリスク因子を把握し、治療のゴールと標準治療を概説できる（知識）
2. 主要疾患の病態に応じた適切な薬剤選択とその根拠を説明できる（知識・技能・態度）
3. 主要医薬品の標準的な用法・用量と治療個別化を説明できる（知識・技能・態度）
4. 医薬品使用上の注意、モニタリング計画を説明できる（知識・態度）

■ 準備学習（予習・復習）

予習：当該疾患に関係する病態生理学や薬理学などの講義資料を復習しておく（30 分以上）

復習：講義資料にもう一度目を通し、理解が不十分な事項について適切な参考書で調べてみる（30 分以上）

■ 授業形態

課題解決型学習、講義

■ 授業内容

病態と治療の意義、治療のゴール、標準治療の概要、適切な薬剤選択、薬物治療個別化のポイント、医薬品使用上の注意、モニタリング計画について学ぶ。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	糖尿病１	糖尿病の病態、診断と治療の総論、運動・食事療法について理解する。	E2(5)-①-1
2	糖尿病２	糖尿病の薬物治療について、経口血糖降下薬、インスリン治療法を理解する。	E2(5)-①-1
3	糖尿病３	糖尿病の合併症の診断と治療について理解する。	E2(5)-①-1
4	脂質異常症１	脂質代謝と脂質異常症の診断・臨床検査、及び脂質異常症の治療の総論について理解する。	E2(5)-①-2
5	脂質異常症２	脂質異常症の治療の各論について理解する。	E2(5)-①-2
6	高血圧症１	高血圧症の薬物治療１	E2(3)-①-4
7	高血圧症２	高血圧症の薬物治療２	E2(3)-①-4
8	虚血性心疾患１	安定虚血性心疾患および末梢動脈疾患の薬物治療	E2(3)-①-3・5
9	虚血性心疾患２	急性冠症候群の薬物治療	E2(3)-①-3
10	心不全１	慢性期心不全の薬物治療	E2(3)-①-2
11	心不全２	急性期心不全の薬物治療	E2(3)-①-2・5、E2(3)-③-1
12	不整脈１	不整脈の総論と上室性不整脈の薬物治療	E2(3)-①-1
13	不整脈２	心室性不整脈および徐脈性不整脈の薬物治療	E2(3)-①-1、E2(3)-②-2
14	静脈血栓塞栓症	静脈血栓塞栓症の薬物治療	E2(3)-②-2・5
15	脳血管障害	脳血管障害の薬物治療	E2(1)-③-8、E2(3)-②-2

■ 授業分担者

櫛山暁史（No.1～5、12、13、15）、池上洋二（No.6～9）、菱沼 滋（No.10、11、14）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

講義資料を MY-CAST にアップロードし、必要に応じ課題を提示し、随時質問等に応じる。

成績は期末試験 (100%) で評価する。

▌教科書
配布プリント

▌参考書
Pharmacotherapy: A Pathophysiologic Approach, 10th ed.(McGraw-Hill)
各診療ガイドライン(最新版)